

従業者向け 放課後等デイサービス自己評価表(2023年度末)

NPO法人あすみ会 放課後等デイサービスオンリーワン

2024.3.25 公表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点
環境・ 体制整備	1	利用定員に対して活動室の広さは適切であるか	8	2		活動室は広いが、クールダウンの場所が欲しい。
	2	支援員の配置数は適切であるか	4	4	2	利用定員10名の基準人員2名に対し、児童指導員等加配加算を取得し10対3(先発音除く)の配置となっている。 表裏には、外出時は10対5でも欲しいのが現状。GPS機器の活用と活動場所の選定を慎重に行いたい。 利用者は男性が多いが、男性職員が足りていない。 今後も男性職員を引き続き募集していく。
	3	子どもにとって危険が伴うような施設や備品の損壊、故障等がないか	4	4	2	施設の老朽化で、壁の強度が弱くなっているのが深刻。 応急処置で何とかしている現状。 壁の修繕、移転は今後の課題
業務改善	4	業務改善のための目標設定と振り返りに広く職員が参加しているか	3	6	1	業務改善のための目標設定を具体的にしていないため、意識できていない。 ミーティングで具体的な目標を設定していく。
	5	保護者アンケートを実施し、保護者の意向等を把握し、業務改善につなげているか	3	7		保護者アンケート結果は、毎年保護者に配布の上HPIに掲載。 自己評価表もHPIに掲載。 改善必要な箇所はミーティングの議題になっているもの、職員は意識できていない印象。今後も丁寧に説明をしていく。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やHPで公開しているか	6	3	1	
	7	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	7	3		今年度から、オンライン研修を導入した。 必須と推奨科目を設定したが、必須のみの受講が大抵であった。 推奨科目も、日々の支援の基本となるため、来年度は期間や科目を絞り、受講率の向上、受講後の意見交換の機会を設けていきたい。
適切な 支援の 提供	8	アセスメントを適切に行い、子供と保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、サービス計画を作成しているか	7	3		現在のアセスメントツールだけでは、利用者の課題に対応できていない。 来年度は、アセスメントツールの見直しをおこなっていく。
	9	子供の適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4	6		
	10	活動プログラムの立案をチームで行っているか	4	3	3	
	11	活動プログラムが固定化しないように工夫しているか	3	5	2	内容が固定化している面もある。 従来は職員のみで行っていたが、今後は全体ミーティングで検討していく。
	12	平日、休日、長期休暇に応じて、課題を決めて支援しているか	5	3	2	
	13	子供の状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせるサービス計画を作成しているか	7	2	1	サービス計画の見直しはしているが、個別活動と集団活動の組み合わせはあまり意識していなかったが、発達段階で随分的に比率が変化している。 他事業所との連携、相談支援事業所との連携は今後の課題。
	14	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の内容や役割分担の確認をしているか	9	1		記録ファイル必ず出し、必要に応じて口頭でも伝えるようにしている。 口頭で伝えたことも、曜日によっては忘れえなかったため、スタッフノートや、記録ファイル冒頭への記入を徹底する。
	15	支援終了後には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点を共有しているか	4	5	1	支援開始前は打合せできているが、終了後は、お迎えの時間によっては打合せ出来ない場合もあり、課題がある。 他事業所ではどのようにしているのか、確認したい。
	16	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	8	2		正しい記録の書き方を、たれでもわかるように見本を用意している。 今後も、よりわかりやすく記録が見れるよう、書き方、フォーマットの工夫をしていく。
	17	定期的なモニタリングを行い、サービス計画の見直しの必要性を判断しているか	5	5		毎月のモニタリングは児発音が記録されている。 従来はサービス計画の見直しを全体ミーティングで行っていたが、職員の負荷軽減のため、今後は日々の打ち合わせ時に担当者に相談をしていく。
関係機関 や保護者 との連携	18	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子供の状況に精通した最もふさわしい者が参加しているか	4	5	1	セルフプランが多く、そもそも相談支援が入っていないかたり、入っていても支援会議がないことも多いが、会議があれば参加している。
	19	学校との情報共有(年間計画・行事予定・下校時刻の確認)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	5	5		年間計画、下校時刻の確認は、保護者経由で行っている。 けやきの森学園はまちこみメールに登録し、休校・病欠発生などの情報を得ている。 武蔵高学園の事業者向け説明会に参加し、送迎時の対応などを確認している。
	20	就学前に利用していた保育所や幼稚園、児童発達支援事業所との間で情報共有と相互理解に努めているか	2	6	2	過去に情報を共有できたのは、1カ所のみ。 今後は利用開始時に保護者の了解を得て、保育園とも話をしたい。
	21	学校を卒業し、障害福祉サービス事業等で移行する場合、これまでの支援内容等の情報を提供しているか	3	7		同法人のカウンタービレには保護者の許可を得て情報提供している。 けやきの森からは現在までのところ依頼がない。 保護者にも説明し、事業所からの依頼があれば提供していく。
	22	児童発達支援センターや障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	5	5		専門機関の助言を得る機会は、これまではあまりなかった。 けやきの森からは、令和6年4月から開所予定。 相談のフォローがまだ出ていないが、放デイからも相談ができるのか、注目している。
	23	地域との交流、イベントへの参加を行っているか	7	1	2	WaiWaiフェスティバルへの出品、福祉まつりへの参加
	24	日頃から子供の状況を保護者と伝え、子供の発達状況や課題について共通理解を持っているか	8	2		面談、日ごろのお迎え時のやり取りなどをとおして、共通理解できるようにしている。
	25	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニング等の支援を行っているか	2	6	2	具体的には行っていない。 今後の課題
保護者 への 説明 責任等	26	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6	3	1	利用開始時に必ず1時間時間をかけて説明している。
	27	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4	3	3	お迎え時に保護者から相談があることもあるが、満足のいく支援ができていないのか、スキル不足を感じる。 こちらからも、悩んでいそうな方には声をかけていくなど、積極的な声掛けも必要か。
	28	父母会の活動を支援したり、保護者会等を開催することにより保護者同士の連携を支援しているか	4	5	1	保護者会は2023年度から再開。2024年度も実施していく。
	29	子供や保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子供や保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6	3	1	体制はあるものの、実際に対応できるの未だ少数。 小さなトラブルでも、どう解決したかを記録に残していく習慣をつける。
	30	定期的な会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制の情報を子供や保護者に対して発信しているか	9	1		オンリーワン便りを毎月発行し、活動内容やお知らせを発信している
	31	個人情報に十分注意しているか	8	2		該当情報のある書類の破棄の際はシュレッダーをかけるなど、会議でも資料配布には注意している。 記録ファイル、個人ファイルは、鍵のある書棚に保管し、事務室も業務終了時に鍵の施錠をしている。
	32	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のために配慮しているか	7	3		配布物のフォントをUDPフォントを選んでいる
非常時 の 対応	33	危機管理マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知しているか	8	2		保護者会での説明、4月の全体ミーティングでの確認をおこなっている
	34	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出訓練その他必要な訓練を行っているか	9	1		年三回、実施している
	35	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保するなど、適切な対応をしているか	9	1		毎年、研修をおこなっている
	36	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、支援計画に記載しているか	7	3		虐待防止委員会で決定して、支援計画に記載
	37	食物アレルギーのあることについて、医師に指示書に基づく対応がされているか	7	1	2	過去の例では医師の指示書ではなく、保護者からの依頼だった。 今後は医師の指示書を出してもらう
	38	ヒヤリハットを記録し、事業所内で共有しているか	9	1		記録し、発生した場合には全体ミーティングで共有している。
自由記載						